

知床ネイチャーキャンパス2023

ステップアッププログラム Part1：エゾシカ管理

オンデマンド配信講義：2023年8月10日（木）～9月15日（金）

ケースメソッド授業：2023年9月16日（土）、17日（日）

現地実習・演習：2023年9月27日（水）～30日（土）

実習フィールド：北海道斜里町の知床世界
遺産地域と周辺地域

演習会場・宿舎：知床第一ホテル

受講生：17名

北海道13名、青森県1名、千葉県1名、岐阜県1名、大阪府1名。
野生動物管理を学ぶ大学生のほか、環境省職員、地域おこし協力隊、大学職員、獣医師などの参加がありました。

講師紹介（敬称略）



講義・ケースメソッド・現地実習・演習

宇野 裕之

東京農工大学大学院農学研究院特任教授・
野生動物管理教育研究センター長
知床世界自然遺産地域科学委員会委員



ケースメソッド・演習

敷田 麻実

北陸先端科学技術大学院大学教授
知床世界自然遺産地域科学委員会委員
エコツーリズム・地域資源戦略を研究



現地実習・演習

金川 晃大

公益財団法人知床財団 保護管理事業係長
野生動物対策を担当し、日々現場対応や
モニタリングに携わっている。



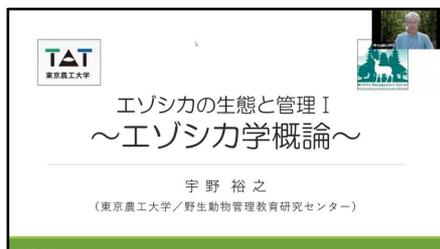
現地実習・演習

寺屋 翔太

斜里町役場 総務部 環境課 主事
野生動物対策を担当し、行政の面から現場の
マネジメントを行っている。

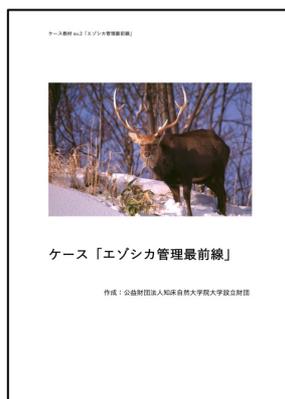
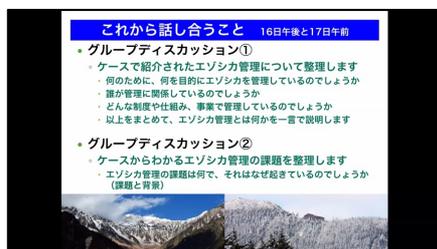
※そのほか様々な地元関係者にご指導いただきました。

オンデマンド配信講義（2023.8.10～9.15）



長年知床のエゾシカ管理に携わってきた宇野裕之講師による2本のオンデマンド配信講義「エゾシカの生態と管理Ⅰ～エゾシカ学概論～」、「エゾシカの生態と管理Ⅱ～北海道/知床のシカ管理」を配信しました。受講生は講義を通じて、ニホンジカやエゾシカの分布や形態、生活史から、人との関わりや歴史、爆発的増加の理由、北海道や知床での管理に至るまで、エゾシカ管理を考える上での基礎的な知識をしっかりと押さえました。

ケースメソッド授業（2023.9.16～17）



「ケースメソッド授業」とは、物語風の教材を読み、担当者目線で現場が抱える課題について考えるとともに、参加者間のディスカッションを通じて理解を深めていく教育方法です。当財団では今回のプログラムのためにエゾシカ管理をテーマとしたケース教材「エゾシカ管理最前線」を作成しました。

受講生には事前に教材を読んでもらい、①知床のエゾシカ管理の関係者とそれぞれの役割、抱えている課題などの整理、②今後のエゾシカ管理の目標や方向性、③その実現に向けた各関係者の役割や責任、についてそれぞれの意見を準備していただきました。

授業当日はまず敷田麻実講師からアイスブレイキングとディスカッションのルールなどを説明していただきました。その後4つのグループに分かれてそれぞれの問いについてディスカッションを行い、さらに敷田講師のファシリテーションのもと全体ディスカッションを行いました。宇野講師には各グループを巡回してディスカッションに加わっていただくとともに、全体ディスカッションで論点の整理を行っていただきました。エゾシカ管理の現状と現場を取り巻く複雑な状況について明瞭化でき、現地実習で見べきポイントを明確にすることができました。

現地実習・演習 1 日目 (2023.9.27)

現地実習・演習初日は知床第一ホテルに集合し、短いオリエンテーションのあと、世界遺産地域内のエゾシカ管理の現場（岩尾別台地、しれとこ100平方メートル運動地）で実際の管理の課題や現状を学びました。夕方にはチームごとに振り返りや意見の共有をおこないました。

実習 1 世界遺産地域における 生物多様性保全とエゾシカ管理 岩尾別台地

知床財団の金川晃大講師に、岩尾別台地を案内していただき、世界遺産地域における生物多様性保全のための取り組みを解説していただきました。大型囲い柵を案内していただき、柵の構造や実際のシカ捕獲の流れを教えてくださいました。

捕獲の具体的な方法は実際の捕獲を重ねる中で試行錯誤しているとのことで、エゾシカの捕獲が時代や状況に応じて絶えず変わっていくものであることを学びました。



実習 2 森林復元とエゾシカ管理 しれとこ100平方メートル運動地

斜里町役場の寺屋翔太講師に、森林復元を進めている「しれとこ100平方メートル運動」の運動地を紹介していただきました。はじめに「運動ハウス」を見学し、運動のあらましをうかがいました。運動は「文化の運動」でもあるという印象的な言葉をお聞きしました。

その後「森づくりの道・シカ柵コース」を案内していただき、植林用の苗を育てている様子を見たり、シカの影響が甚大な場所と軽微な場所を比較したりして、森づくりにおけるエゾシカとの闘いについて現場に身を置きながらじっくりと考えました。



現地実習・演習 2 日目 (2023.9.28)

現地実習・演習 2 日目は、主に世界遺産隣接地域でのエゾシカ管理を学びました。実際の狩猟者や食肉加工会社、観光事業者など様々な立場の方からお話をうかがい、エゾシカ管理について多角的に考えました。夕方には初日と同じく、チームで振り返りや意見の共有をおこないました。

実習 3 世界遺産隣接地域におけるエゾシカ管理

知床森林生態系保全センターなど

林野庁知床森林生態系保全センターを訪れ、職員の方々から隣接地域でのシカ捕獲の取り組みについて解説していただきました。合わせて捕獲の様子を撮影した映像や、実物のくくり罠とそのしくみを見せていただき、具体的なイメージをつかむことができました。

その後、国設知床野営場奥の囲い罠を実際に中に入れて見せていただきました。シカを目線からも構造を理解するとともに、より効率的な捕獲のために施した改良についてなど、試行錯誤のお話もうかがうことができました。



実習 4 知床におけるエゾシカ猟

知床第一ホテル

斜里町内のエゾシカ狩猟者である川村芽惟さんと山中美歩さんをワークショップ会場にお招きして、それぞれの知床移住の経緯や、知床での仕事や生活、そしてエゾシカ猟への関わり方などをうかがいました。

受講生からは多くの質問の手が上がり、おすすめの鹿肉の調理法から狩猟に対する倫理的態度まで、様々なテーマに基いて意見交換がなされました。ひとくちに狩猟者と言っても個々で様々な関わり方や考え方を持っていることを知ることができました。



現地実習・演習 2 日目 (2023.9.28)

実習 5 捕獲個体の活用と流通

知床エゾシカファーム

斜里町内のエゾシカ加工施設である知床エゾシカファームを訪れ、代表取締役の富田勝将さんに付設されている牧場を紹介していただくとともに、エゾシカファーム設立の経緯や、捕獲個体の活用や流通の流れ、コロナ禍を経て現在抱えている課題などを教えていただきました。

民間の加工施設が世界遺産地域の管理の重要な担い手であることを実感するとともに、食肉として鹿肉を流通させ経営を安定化させることの大変さについても理解を深めました。



実習 6 観光とエゾシカ

知床第一ホテル

知床ネイチャーオフィス代表取締役の松田光輝さんにワークショップ会場にお越しいただき、観光の視点から見たエゾシカやその管理についてお話ししていただきました。

昆虫類やそれを食べる小型哺乳類の減少や、マダニの増加など、松田さんがガイドであるからこそ実感しているシカの増加による自然環境への影響や、行動経済学やマーケティングの観点を交えた観光資源としてのエゾシカの位置づけと可能性などについて、わかりやすく教えていただきました。



オプション 野生動物観察のナイトツアー

観光におけるエゾシカの位置づけを理解するために、希望者に野生動物観察のナイトツアーに参加していただきました。「ライトセンサス」という野生動物調査の方法を応用したツアーで、自分で野生動物を発見する楽しみも味わいながら、様々な動物に出会うことができました。

現地実習・演習3日目（2023.9.29）

現地実習・演習3日目は、これまでの学びを踏まえた集大成として、各チームに分かれてワークショップを行い、オープンキャンパス（成果発表会）に臨みました。

ワークショップ演習

知床第一ホテル

講義・ケースメソッド・現地実習で学んだことを踏まえ、知床が抱えるエゾシカ管理の課題とその解決策を各チームで考えました。冒頭に敷田講師から、様々な意見を持つ人々と提案をつくる際のポイントを教えていただいた上で、受講生は大胆なアイデアの提案にチャレンジしました。

宇野講師、金川講師、寺屋講師には各チームのディスカッションをサポートしていただき、受講生の質問に答えたり、アドバイスをいただいたりしました。



オープンキャンパス・交流会

知床第一ホテル

8月から始まったステップアッププログラムの集大成を、地域の方々の前で発表しました。人材や資金を企業から募るオーナー制度や人材バンクの創設、担い手の育成プログラムなど、個性的な提案が発表され、会場からは多くの質問が寄せられました。

オープンキャンパス終了後の交流会では、地域の方々と交流を深めるとともに、互いの連絡先を交換するなど、今後につながるネットワークを作ることができました。



現地実習・演習4日目 (2023.9.30)

修了式

知床第一ホテル

最終日の朝、簡単な修了式を行い、受講生の皆さんに修了証を手渡しました。これで全プログラムが終了し、解散となりました。



現地実習・演習プログラム

	開始時間	時間	終了時間	内容	場所
9月27日 (水) 1日目	8:00	0:30	8:30	受付	知床第一ホテル
	8:30	0:15	8:45	主催者あいさつ・プログラムの趣旨説明	知床第一ホテル
	8:45	0:20	9:05	チームビルディング	知床第一ホテル
	9:05	0:10	9:15	この後の流れ説明	知床第一ホテル
	9:15	0:30	9:45	移動 (知床第一ホテル～岩尾別台地)	
	9:45	2:30	12:15	実習① 世界遺産地域における生物多様性保全とエゾシカ管理	岩尾別台地
	12:15	0:15	12:30	移動 (岩尾別台地～知床自然センター)	
	12:30	0:45	13:15	昼食・休憩 (知床自然センター内・周辺見学)	知床自然センター
	13:15	2:30	15:45	実習②森林復元とエゾシカ管理	100平方メートル運動ハウス 森づくりの道・シカ柵コース
	15:45	0:25	16:10	移動 (知床自然センター～知床第一ホテル)	
9月28日 (木) 2日目	7:00	2:00	9:00	朝食・準備	知床第一ホテル
	9:00	0:10	9:10	集合・移動 (知床第一ホテル～知床森林生態系保全センター)	
	9:10	1:15	10:25	実習③世界遺産隣接地域におけるエゾシカ管理	知床森林生態系保全センター ウトロキャンプ場周辺国営林
	10:25	0:15	10:40	移動 (知床森林生態系保全センター～知床第一ホテル)	
	10:40	1:20	12:00	実習④知床におけるエゾシカ猟	知床第一ホテル
	12:00	0:05	12:05	移動 (知床第一ホテル～ウトロ道の駅)	
	12:05	1:25	13:30	昼食・休憩	ウトロ市街地
	13:30	0:15	13:45	移動 (ウトロ道の駅～知床エゾシカファーム)	
	13:45	1:30	15:15	実習⑤捕獲個体の活用と流通 エゾシカ肉の製造・加工	知床エゾシカファーム
	15:15	0:15	15:30	移動 (知床エゾシカファーム～知床第一ホテル)	
	15:30	1:30	17:00	実習⑥観光とエゾシカ	知床第一ホテル
	17:00	1:00	18:00	チーム内での軽めの意見共有・適宜交流	知床第一ホテル
18:00	1:30	19:30	夕食	知床第一ホテル	
19:30	2:00	21:30	夜の動物ウォッチング (オプション)		
9月29日 (金) 3日目	7:00	2:00	9:00	朝食・準備	知床第一ホテル
	9:00	9:00	18:00	ワークショップ演習 (チームごとに昼食)	知床第一ホテル
	18:00	1:00	19:00	夕食	知床第一ホテル
	19:00	1:30	20:30	オープンキャンパス	知床第一ホテル
	20:30	1:30	22:00	交流会	知床第一ホテル
9月30日 (土) 4日目	8:15	0:30	8:45	修了式	知床第一ホテル

Photo gallery

